

庄原市地域公共交通会議 第3回ワーキング

令和2年12月11日（金） 18:30～20:30

1. これまでの議論の振り返り
2. 各種ヒアリング結果の共有
3. 市の交通を取り巻く課題
4. 施策の取組方針
5. 話題提供
6. 意見交換

第2回WGで出た主な意見

まちの 状況

- 近所で買い物できる場所が無い、あっても品ぞろえが悪い

観光

- 観光二次交通が弱い
- 広域周遊の交通アクセスがない

バス

- バス停までが遠い
- 帰りに重い荷物を持って歩くのが大変
- ひまわりバス＝庄原地域以外の人が使っていない

タク シー

- 旧町の中心部まで片道3,000円～5,000円くらい掛かる地域がある
- 夜間タクシーが運行していないため、緊急時や夜の飲酒後の利用ができない
- タクシーを地域の公共交通として捉える考え方が必要では

免許 返納

- 免許返納後の交通手段がないため、免許更新ができる限りは返納できない

自治振興区ヒアリングー庄原地域

買物

- 近所で買い物できる場所が無い(土日休み等)

通院

- 診療時間とバスのダイヤが合わない

バス

- バス停までが遠い
- 帰りに重い荷物を持って歩くのが大変
- 生活バス等が備北交通やJRとの接続が悪い

市民タクシー

- 市民タクシーは週2日のみの運行で利便性が低い

免許返納

- 免許返納後の交通手段がない
- 返納したら外出が制限される

自治振興区ヒアリングー西城地域

買物

- ・ 近所で買い物できる場所が無い、車で行かざるを得ない

通院

- ・ 高齢者は西城市民病院を利用
- ・ 若者は庄原日赤、三次、広島方面

バス

- ・ 帰りに重い荷物を持って歩くのが大変
- ・ 待ち時間が長く、用事が済んですぐに帰れない
- ・ 乗り方が分からない、サービスがよく分からない
- ・ 他の集落を経由するため、車での移動よりもかなり乗車時間が長い

タクシー

- ・ 料金が安い
- ・ 夜間の運行が無い
- ・ 移動手段がなく、救急車を呼ぶしかないことがある
- ・ しかし、入院の必要が無いと判断されると、自宅に帰る手段がない

自治振興区ヒアリングー東城地域

買物

- 東城町中心部や小奴可駅周辺以外、近所で買い物できる場所が無い
- 洋服は町外

通院

- 庄原へのバス便が少なく、庄原日赤に行くだけで1日がかかりになる
- 整形外科は新見市に行くことも

バス

- バス停までが遠い(谷筋の集落から幹線道路まで遠い)
- 帰りに重い荷物を持って歩くのが大変
- 乗り方が分からない、サービスがよく分からない

市民タクシー

- 事務負担が大きい
- 運行日が決まっている、事前予約などの制約があり、利用しづらい
- 利用者が固定されている

タクシー

- 東城の中心部まで5,000～6,000円ぐらい掛かる地域がある
- タクシーが地域の交通を支えるという考え方が必要ではないか

自治振興区ヒアリングー口和地域

買物

- 近所で買い物できる場所が無い

バス

- 帰りに重い荷物を持って歩くのが大変
- 待ち時間が長く、用事が済んですぐに帰れない
- 中心部では待合空間があるが、それ以外では待てない

乗合タクシー

- 曜日運行の路線では、使いたい曜日に運行がない

タクシー

- 庄原中心部まで片道5,000円～10,000円ぐらい掛かる
- 料金が高いため、利用しづらい
- 呼んでも乗務員がいないと断られることもある

自治振興区ヒアリングー高野地域

買物

- 近所で買い物できる場所が無い、あっても品ぞろえが悪い

通院

- すぐに庄原日赤を紹介される
- 病院の予約時間と合わない

バス

- 帰りに重い荷物を持って歩くのが大変
- 待ち時間が長く、用事が済んですぐに帰れない

乗合タクシー

- 使いたい曜日に運行がなく、サロン等に行くときに使えない

タクシー

- 料金が高いので、利用しづらい
- 夜間の運行が無い

自治振興区ヒアリングー比和地域

買物

- 近所で買い物できる場所が無い、あっても品ぞろえが悪い

通院

- 診察がバスに間に合わず、診察を受けずに帰った人もいる
- 病院からの帰りのバスの便数が少ない

バス

- 帰りに重い荷物を持って歩くのが大変
- 待ち時間が長い
- 中心部では待合空間があるが、それ以外では待てない

タクシー

- タクシーは料金が高いため、利用しづらい
- タクシーを呼んでも長時間待つこともある

自治振興区ヒアリングー総領地域

買物

- 近所で買い物できる場所が無い(土日休み等)

通院

- 診療時間とバスのダイヤが合わない

福祉

- 福祉施設の車両が町内を走っており、市外からも来ている

バス

- 帰りに重い荷物を持って歩くのが大変
- 生活バス等が備北交通やJRとの接続が悪い
- 待ち時間が長い

こまわりくん

- 車両が1台しかないため、予約が重なって困ることがある
- ボランティアドライバーで支えているが、担い手確保が難しい

免許返納

- 免許返納後の交通手段がない
- 返納したら外出が制限される

運行事業者ヒアリング(市営バス、乗合タクシー、乗用タクシー)

担い手 確保

- 平均年齢は50～60代ぐらい、常に人材を探している
- 5～10年後の状況が不透明
- 定年が70歳まで伸びると、採用がさらに厳しくなる
- いまの年収では求人をつけても誰も応募しない
- スクールや委託が増えると、他のサービスへ割く人員を減らさざるを得ない

市営 バス

- 外から観光客を呼ぶのが難しいダイヤになっている場合がある
- 営業時間はおおむね8時～18時ごろ、土日は予約のみとしているところも多い

乗用タ クシー

- タクシー車両から家まで乗客の代わりに荷物を運ぶこともある
- なじみの客から買い物代行を頼まれることもある
- タクシーを頻繁に利用する人の見守りも(利用が減ったら確認しに行く)
- 乗務員の運転・接遇に関する教育・スキルアップが必要

乗合タ クシー

- 乗合交通は調整する人がいないと大変
- 乗合に対する苦手意識がある人もおられる

商業施設ヒアリング

移動 販売

- 個別訪問での移動販売を行っている
- 安否確認も同時に行い、市に報告している

来訪 状況

- 自治振興センターでの用事の際に高齢者の来店が多い

連携

- 店内にバス待合スペースを整備している→バス停はほとんど使っていない
- 正面玄関にバス停を持ってきてもらいたい
- 貨客混載は地域の実情に合わないのではないか

社会福祉法人ヒアリング

介護 サー ビス 送迎 状況

- 地域内での送迎を対応している
- 7時台～9時台で迎えに行き、15時台以降に送り届けている
- 車両の目的外使用については、ニーズが見えにくいほか、運用ルールを決める必要がある

おでか け 応援 隊

- おでかけ応援隊として、車両貸し出しやドライバー貸し出しをやっている
- ただし、要介護3以上が対象
- 移動手段を持たない透析患者の長距離輸送が問題

福祉タ クシー

- 福祉タクシーは採算が取れなくて事業としては成り立っていない
- 人工透析の患者などが利用

公共交 通連携

- デイサービスの送迎で立ち寄りができるとうい(以前はできたが禁止された)
- 施設に入るとタクシー助成の対象から外れることがある
- タクシーをもっと身近なものにできるとよい
- 自治振興区に車を貸与して共助交通をしてはどうか(ルールは自治振興区で決める)

観光関係ヒアリング

来訪 状況

- 来訪者はマイカー中心、あとは高速バス
- 木次線のトロッコ列車は島根県側からの利用がほとんど

必要な サービス

- 最寄り駅・バス停からの二次交通が必要
- 広島空港からの公共交通によるアクセスが無い
- オンシーズンの臨時便があると観光客の利用が見込める

行政ヒアリング

教育 関係

- 学校の統廃合が進んでおり、スクールバスの運行が統廃合の条件になっている
- スクールバスの一般客の混乗は理解が得られにくく、路線バス利用もハードルが高い
- 家族が送迎している事例もあり、小中学校で朝渋滞が起きることも

出てきた意見

需要	買い物	近所で十分な買い物ができない
	通院	予約・診療時間とバスのダイヤが合わない
	バス	利便性が低い(バス停が遠い、便数少ない等)
		バスを待てる環境が無い(待合所が無い)
		乗り方が分からない
	一般 タクシー	料金が高い
		呼んでも待たされることがある
地域内交通	使いたい曜日に運行が無い	
供給	担い手	担い手不足が深刻
		市民タクシーの事務負担が大きい
		乗合タクシー(市民タクシー含む)の調整者がいない
	サービス	利用者の要望に応じて、荷物運びや買い物代行、見守りを行っている
		乗務員の運転や接遇の向上が必要
連携	商業	店内で待合スペースを用意
	福祉	目的外使用については運用のルールが必要
	観光	二次交通が必要
	教育	路線バス利用や一般乗客との混乗には保護者の理解が必要